

# 令和3年度「人権と福祉のまちづくり講座」

中央人権福祉センターでは、人権に関わることをはじめ生活上のさまざまな悩みや相談をお受けし、問題解決のための支援をしています。

寄せられる相談内容から見えてくる課題をテーマに市民向けに講座を開催します。講座に参加いただき、「人権と福祉のまちづくり」について一緒に考え、支えあえる社会をめざすことを目的にしています。みなさまの参加をお待ちしております！

【会場】鳥取市人権交流プラザ 2階 研修室（全講座）

【定員】各講座 30名  
参加無料・手話通訳あり

7/13

(火)

13:30~15:30

ハンセン病問題

テーマ

人間回復は叶ったのか？  
ハンセン病問題と残された課題

講師

ハンセン病問題とともに歩む会(とっとり)  
副代表 福安 和子 さん

「ハンセン病は過去の病気。もう終わったのでは？」よく耳にします。しかし、多くの問題が残されているのが現実です。「患者だけでなく、家族も同じ地獄を見た」「社会には今も偏見・差別が残る。何も変わらない、ただ年月だけが経過した」と…。

忘れ去られつつあった社会に染みついた根深い差別が、新型コロナの流行により浮き彫りにされました。まさに“ハンセン病問題から学ぶ人権”です。



7/30

(金)

13:30~15:30

新型コロナ差別 【オンライン講座】※会場と講師をつなぎます

テーマ

「既存差別が生み出した新型コロナ差別」

講師

公益財団法人反差別・人権研究所みえ  
常務理事兼事務局長 松村 元樹 さん

コロナ差別はもちろんのこと、既存の差別問題の解決に向け、これまで以上に多くの人々が共感し連携を強めることが重要な時期にきています。

自身や家族が安心して生活していける社会、職場、学校とするためにはどうしたら良いのか？私たち一人ひとりに何が出来るのかをお話しします。

差別をしない！  
させない！  
許さない！



8/12

(木)

13:30~15:40

部落差別問題 【オンライン講座】※会場と講師をつなぎます

テーマ

寝た子はネットで起こされる！？  
～ ネット社会と部落差別問題の現実 ～

講師

山口県人権啓発センター  
事務局長 川口 泰司 さん

ネット上における人権侵害、差別扇動に対する取り組みは世界的に共通の課題です。先駆的な取り組みに学びながら、ネット上での人権確立に向けた取り組みについて考えていきたいと思えます。



お申込み・お問合せは裏面をご覧ください。

参加をご希望の方は、こちらまでご連絡ください。  
 (※お名前、連絡先、参加講座をお知らせください。)



【スマートフォンから】



【パソコンから】

鳥取市 中央人権福祉センター



※ 「令和3年度 人権と福祉のまちづくり講座」  
 のご案内 をクリックし申込みください。

【電話、メールから】 下段の必要事項をお知らせください。

【ファックスから】 下段「人権と福祉のまちづくり講座」申込書を送信ください。

令和3年度 人権と福祉のまちづくり講座 参加申込書

参加者氏名		
連絡先		
参加希望講座に☑チェックをお入れください。		手話通訳
7月13日(火) 「ハンセン病問題」	<input type="checkbox"/>	・利用する  ・利用しない
7月30日(金) 「新型コロナ差別」	<input type="checkbox"/>	
8月12日(木) 「部落差別問題」	<input type="checkbox"/>	

お申込み  
お問合せ

鳥取市中央人権福祉センター

☎ (0857) 24-8241

📠 (0857) 24-8067

✉ jin-chuo@city.tottori.lg.jp

当日は感染症予防にご理解、ご協力ください。

